

経営体の概要

- ・所在地: 北海道北見市・置戸町・訓子府町(1市2町)
- ・取組主体名: きたみらい農業協同組合・北見GPS研究会
- ・作付面積: 25,293.3ha(平成26年: 農産・青果・飼料作物)
- ・組合員戸数: 1,125戸(平成27年1月末現在)

導入技術

- ・GNSSガイダンスシステム 24台(ニコトリンブル)
- ・自動操舵機能付トラクター 1台(日本ニューホランド(株))
- ・EZパイロット自動操舵18台 AUTOパイロット自動操舵5台(ニコトリンブル)
- ・GNSSレベラー4m・5m各1台(スガノ農機(株))
- ・RTK-GNSS基地局 7カ所



作業精度の
向上

均平作業



導入経緯

- 労働力不足により、圃場管理ができない生産性の低い農地の発生や異常気象による作物の品質及び収量の低下を招いていた。
- そこで作業の効率化・省力化と低コスト農業の展開を図るため、RTK基地局を設置し、高精度なガイダンスシステム等を導入。停滞水解消のためGNSSレベラーも導入。(平成26年度)

取組の特徴・効果

- RTK基地局からの補正情報によるGNSSガイダンスシステム及び自動操舵システムの活用により、測位精度±2cm程度のトラクター誘導走行が可能となり、作業時間の短縮・施肥の適正化・オペレーターの負担軽減・安全性の確保ができた。
- GNSSレベラーでは、精度の高い傾斜のついた均平が可能となり、停滞水が解消され湿害の発生を軽減した。
- 未熟練者(女性・初心者等)による作業が可能となることから、今後は労働力不足の解消に繋げる予定。

【作業時間短縮効果】

- ・小麦播種作業: 1.2h/ha ⇒ 0.89h/ha
- ・てん菜整地作業: 3.2h/ha ⇒ 2.6h/ha
- ・小豆播種作業: 1.5h/ha ⇒ 0.96h/ha